

5 - 2 東海・南関東地域の地震活動（1987年5月～10月）

Seismic Activity in the Tokai and Southern Kanto Districts (May-October, 1987)

気象庁地震予知情報課
Earthquake Prediction Information Division
Japan Meteorological Agency

第1図(a)～(f)に1987年5月～10月までの東海・南関東地域における震源の深さ90km以浅の月別震央分布，第2図(a)・(b)に同年5月～7月と8月～10月の3ヵ月間震央分布を示す。

この期間特に注目された地震活動としては，1987年5月6日ころから活発化した伊豆半島東方沖の群発地震活動である。この活動では有感を含む多数の地震が発生したが，6月4日ころにはほぼ収まった。しかし，余効的な活動は7月上旬まで観測された。最大地震はM5.1（5月11日），震度の最大はⅢ（8回），伊東市鎌田における地震回数（S - P6.0秒以下）は5月6日～6月4日までに2,633回（このうち有感は90回）であった。詳細については別項（伊豆半島およびその周辺の地震活動）で述べる。各地の主な活動は次のとおり。

<東海地域>

静岡県：全体として西部での活動が東部に比べ活発。西部で5月20日にM3.7，7月16日にM3.4，10月9日にM3.2，東部では5月13日にM3.1（伊豆半島中央部）の地震。駿河湾～東海沖：湾内では特に目立った活動はなく，東海沖で5月5日にM3.0，6月8日にM3.1（遠州灘），6月21日にM3.2，7月16日にM6.3（深さ312km），8月19日にM3.6，10月4日と5日に各M3.1のほか14日にM4.3の地震。愛知県：東部より西部での活動がやや活発。伊勢湾北部沿岸で6月19日にM3.4，知多半島で8月26日にM3.1，西部で9月7日にM3.2，北部で9月23日にM3.2，北東部で9月25日にM4.6（愛知・静岡・長野県境）のほか伊勢湾で10月14日にM3.4の地震発生。

<東海地域周辺>

伊豆半島東方沖：本年5月6日～6月4日にかけて群発地震，この最大地震は5月11日のM5.1，震度の最大はⅢ，その後も余効的な活動は散発的に発生（別項参照）。伊豆大島近海：昨年11月～12月に活発な地震活動があつて以来，総じて活動のレベルはやや高い状態で経過。5月15日にM3.2（2回）と16日にM3.0のほか23日にもM3.2，10月27日にM4.3の地震。なお，このM4.3発生の場所から伊豆半島中央部を結ぶ線上で活動がやや活発化。新島～神津島近海：有感を含む地震発生数がやや多目，新島近海で8月22日にM3.5の地震。神奈川県：この期間の前半は静かだが後半に入って次第に活発化し，西部で9月19日にM3.2，中部で10月1日にM3.7，北西部で10月18日にM4.9，北東部（沿岸）で10月25日にM3.0の地震。このほか相模湾ではM1～2クラスが3個発生，この付近では本年2月22日にも同程度のものが集中的に7個発生して注目された。山梨県：南部で7月17日にM3.5，北部で8月22日にM3.1（埼玉県境付近）の地震。長野県：西部で5月12日にM3.8と8月3日にM3.3のほか9月16日にM3.1，これらはいずれも長野県西部地震の余震。岐阜県：西部で6月3日にM3.0，南部で6月7日に

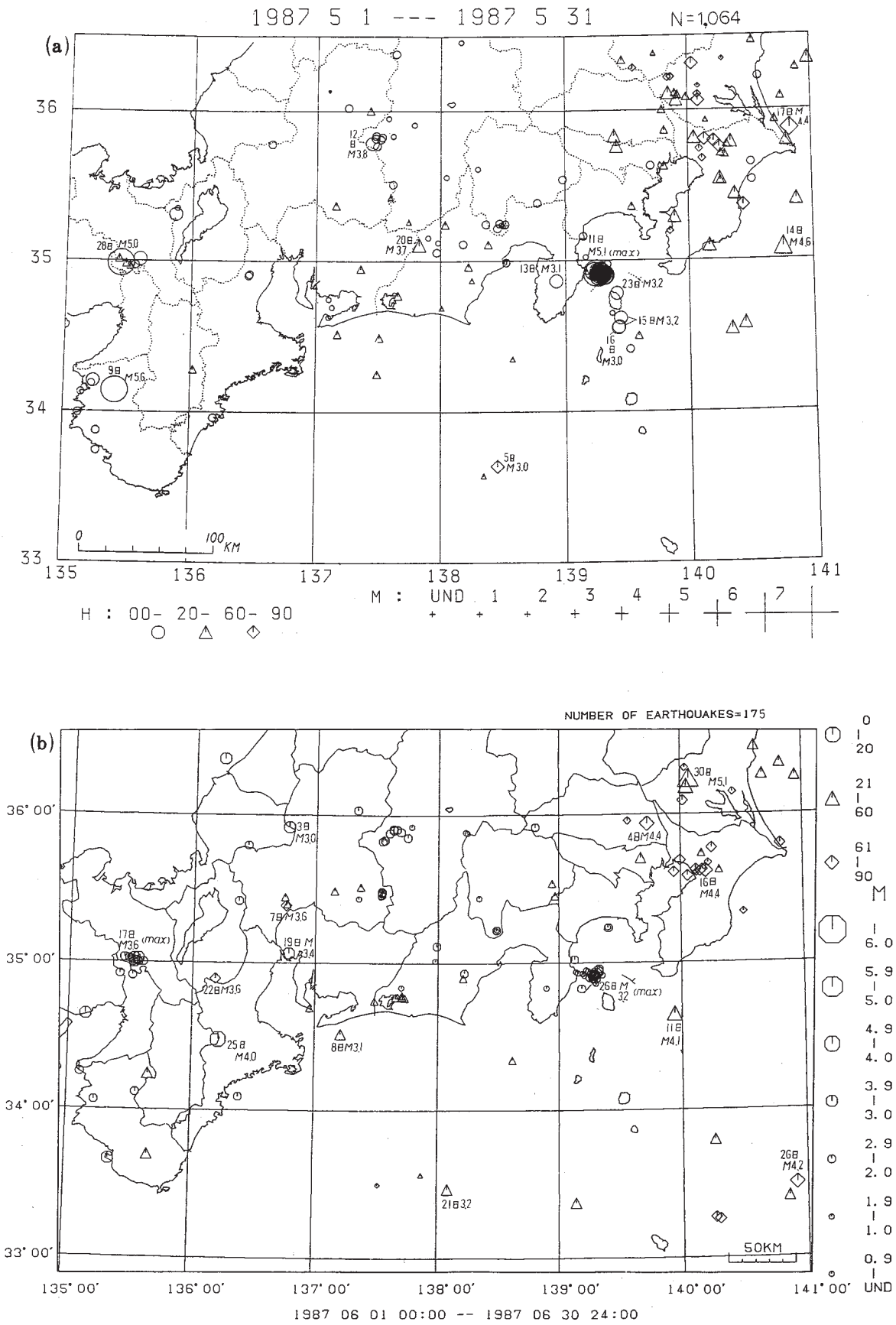
M3.6, 中部で8月10日にM3.6と10月15日にM3.3, 北東部で10月18日にM3.3の地震。また, 阿寺断層南東端付近でも活動がやや活発化した, Mはいずれも1~2クラスの地震。三重県: 全体として前期間(6ヵ月)に比べ活動は活発, 特に尾鷲付近で地震の発生数(M1~2クラス)が多目, 留意。西部で6月25日にM4.0, 中部で8月6日にM3.1, 北部で8月23日にはM3.5の地震。その他: この期間大阪・京都府境と和歌山県北部で地震活動が活発化, 有感を含む地震が多数発生, 最大地震は前者が5月28日のM5.0, 後者が5月9日のM5.6。これらの活動域は次第に周辺部に拡散。また, 京都府沖でも7月21日にM4.8, 珍しい。滋賀県南部で6月22日にM3.6, 北部で9月10日にM4.1, 奈良県北東部で10月31日にM4.0, 埼玉県東部でも6月4日にM4.4, 千葉県中部で6月16日にM4.4のほか, 7月9日にM4.3とM4.0, 茨城県南西部で6月30日にM5.1のほか7月12日にM4.8と27日にM4.1, 南部で7月18日にM4.1と9月3日にM4.4, 南東部で10月10日にM4.2のほかこの沖合で5月17日にM4.4, 千葉県東方~南方沖では5月14日にM4.6のほか6月11日にM4.1と7月2日にM4.1, 八丈島北東~東北東沖では6月26日にM4.2のほか7月7日にM4.8と8月17日にM4.4及び9月6日にM4.7と14日にM4.9の地震発生。

第3図は1987年1月から6月までの半年間の震央分布を示したものである。

注1: 富士山の地震について

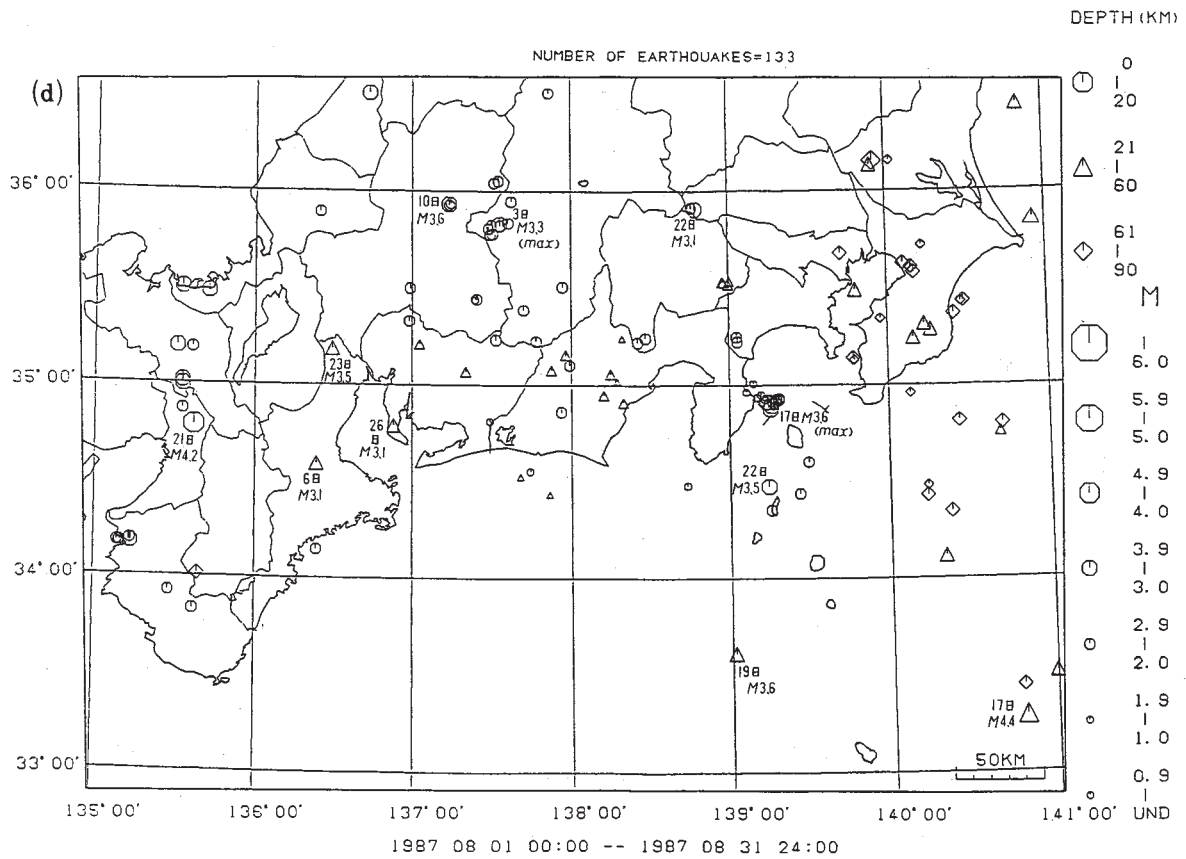
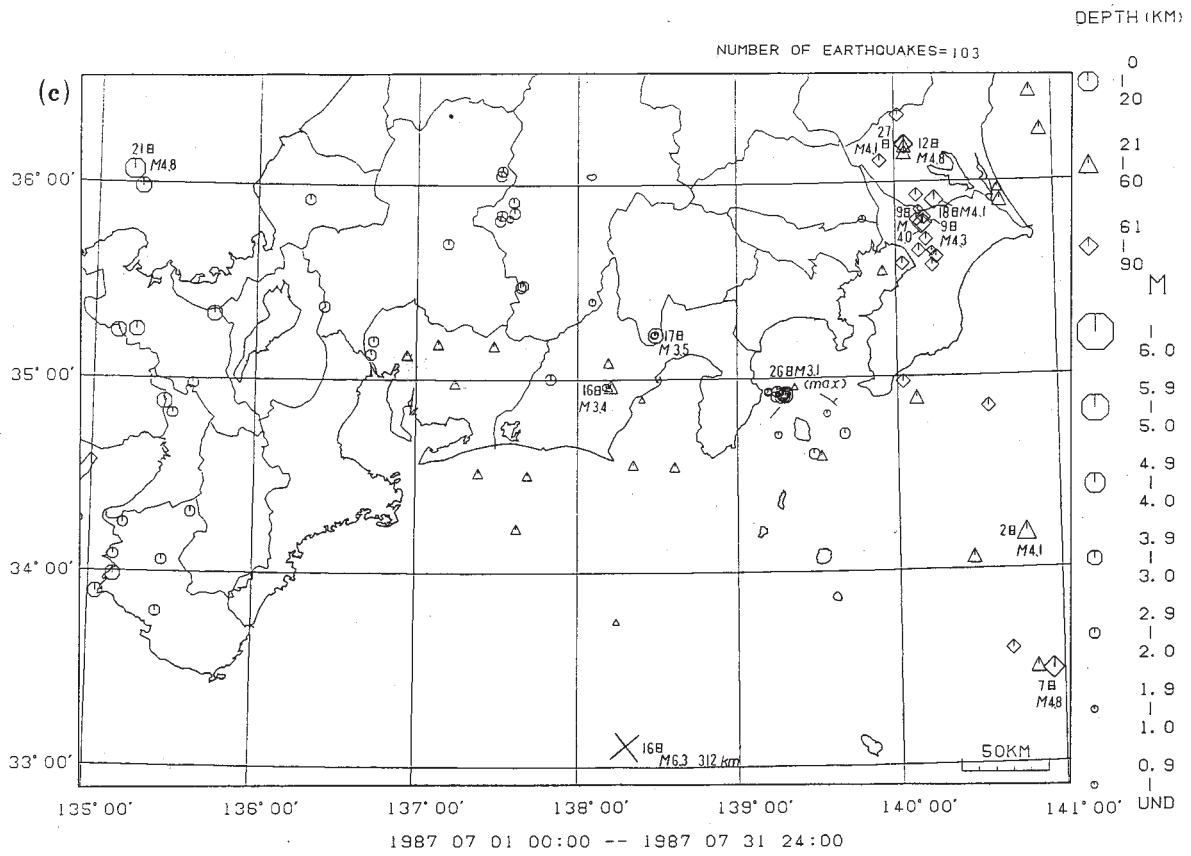
本年8月20日から27日にかけて, 富士山測候所で4回の有感地震が観測されたが, これ以降有感地震は発生していない。この付近を震源とする地震は平均すると年間10個くらい(東海の監視網で震源決定された地震数)はあり, 富士山直下の地震活動としては, 特に珍しいものではない。しかし, 今回の活動では, 始めて山頂測候所で有感となっており, 注目される。観測された震度とその回数は, 20日に震度Ⅲ・1回, 23日に震度Ⅰ・1回, 24日に震度Ⅱ・1回, 27日に震度Ⅰ・1回である。

注2: 第1図(b)~第3図までの各分布図はEPOSで出力させたので, 今後はこのスタイルでの掲示となる。使用符記号等はこれまでの第1図(a)とほぼ同じであり, 地震の深さ別表示記号のうち, 0~20kmのものが円から六角形に変更となった程度である。

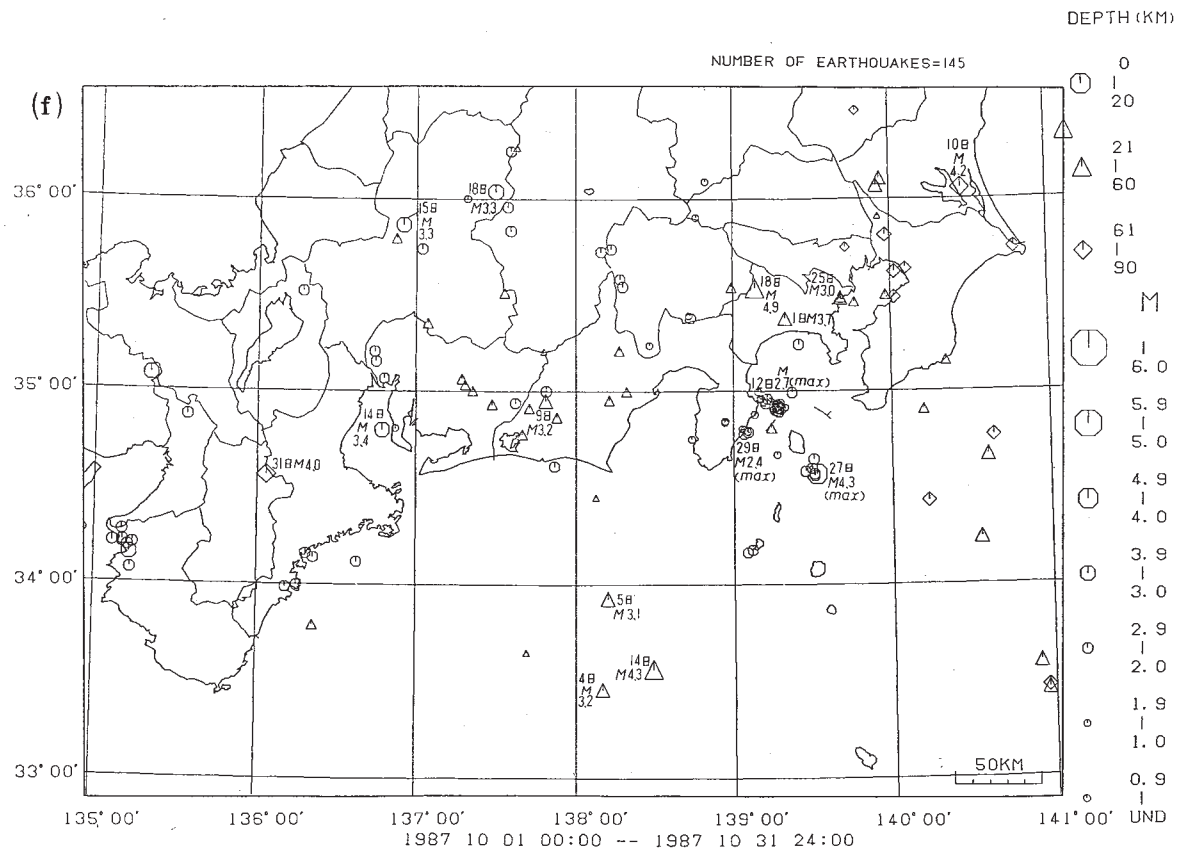
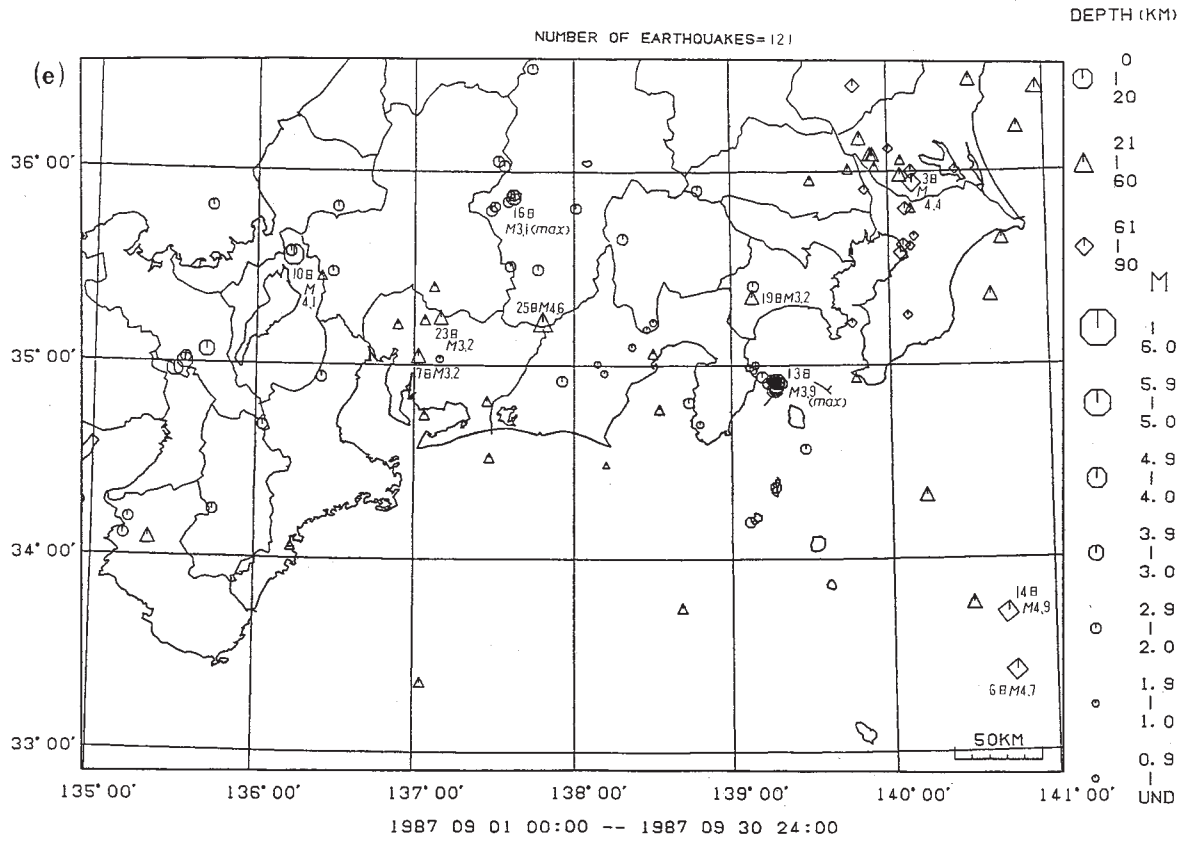


第1図(a)~(f) 東海・南関東地域に発生した地震の月別震央分布 (1987年5月~10月)

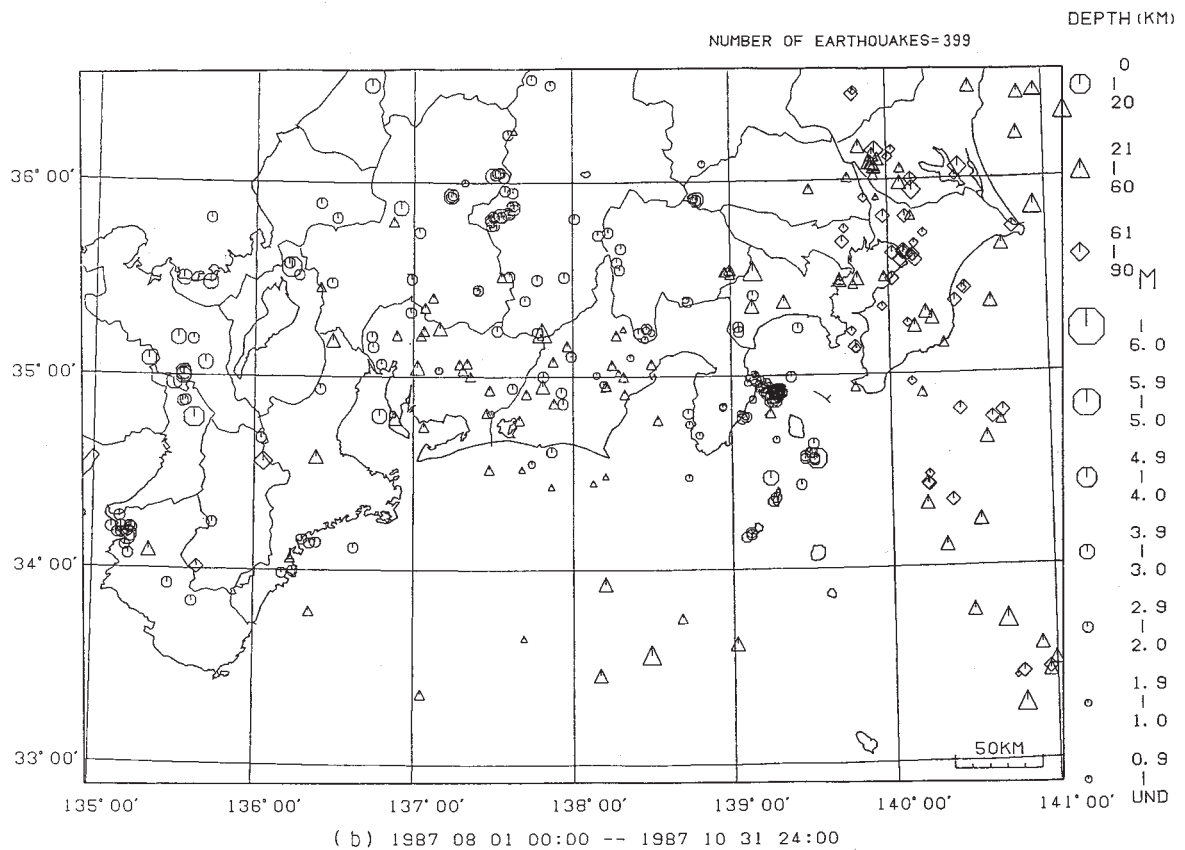
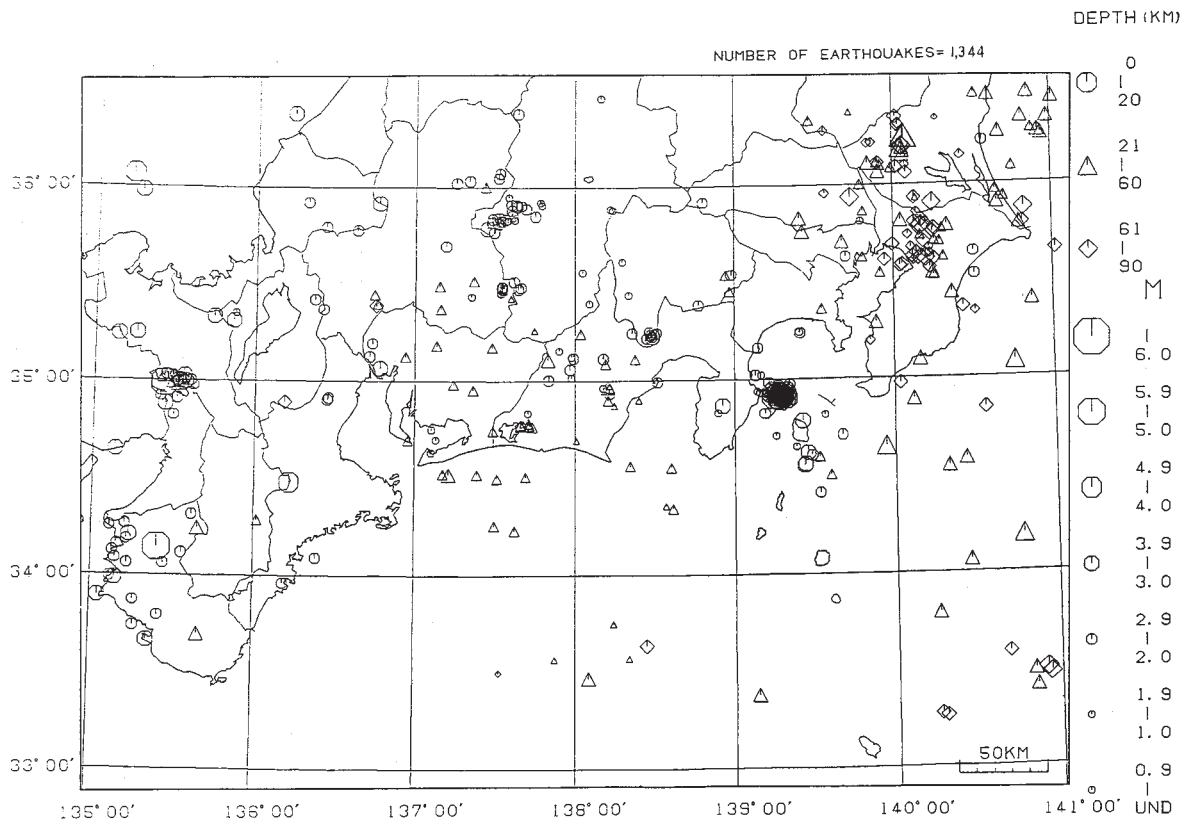
Fig. 1 (a) - (f) Earthquake epicenters in the Tokai and Southern Kanto Districts, May-October, 1987.



第1図 つづき
Fig. 1 (Continued)

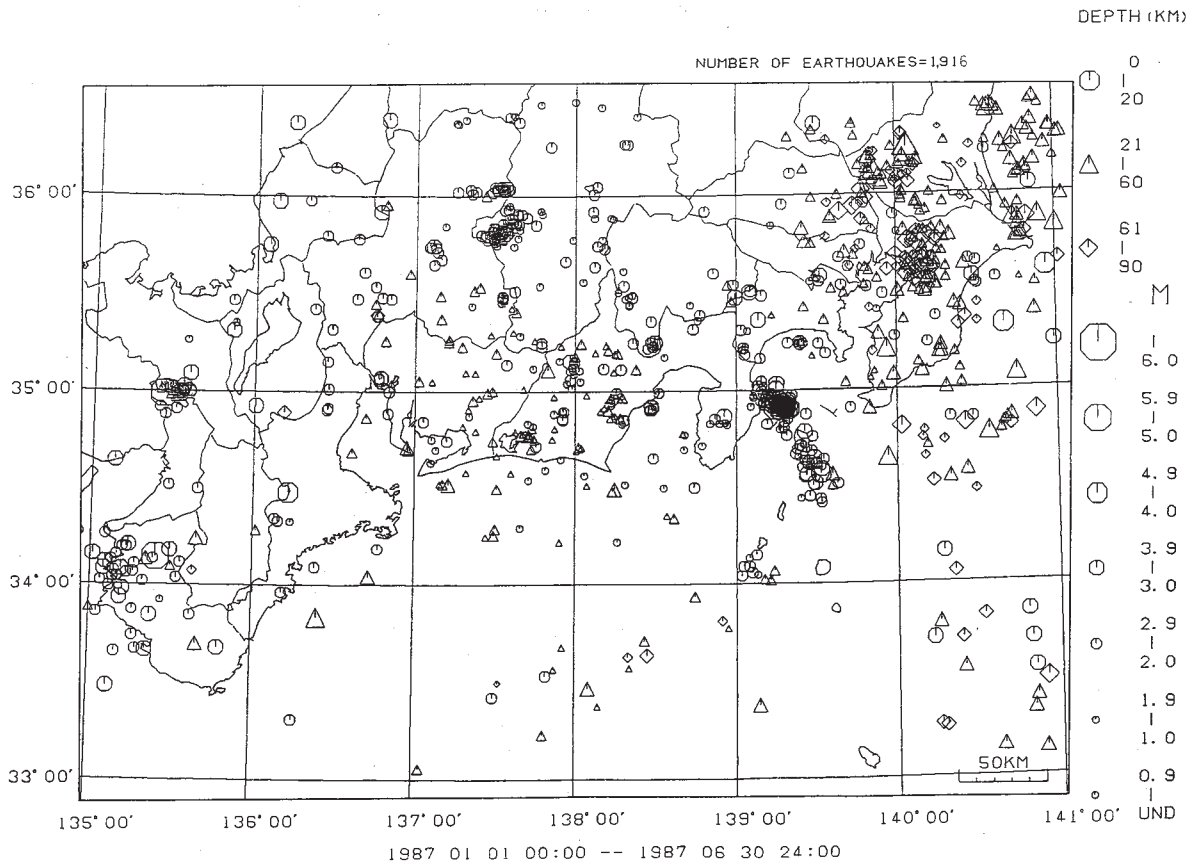


第1図 つづき
Fig. 1 (Continued)



第2図(a), (b) 東海・南関東地域に発生した地震の3ヵ月毎の震央分布

Fig. 2 (a) and (b) Earthquake epicenters in the Tokai and Southern Kanto Districts in for (a) May-July and (b) August-October, 1987.



第3図 1987年1月～6月に東海・南関東地域に発生した地震の震央分布
 Fig. 3 Earthquake epicenters in the Tokai and Southern Kanto Districts for January-June, 1987.